

麻醉科蘇生科



麻醉科蘇生科の紹介

麻醉科蘇生科の診療範囲は、手術麻酔、集中治療、救急などの急性期医療からペインクリニック、緩和医療までその内容は多彩であり、専門性が高い。また、新生児から高齢者まで対象となる患者さんも多岐にわたる。これからも麻醉科医の需要は増加すると考えられるので、活躍の場はいくらでもある。

プログラムの目的と特徴

①麻醉科専門医制度の理念：麻醉科専門医制度は、周術期の患者の生体管理を中心としながら、救急医療や集中治療における生体管理、種々の疾病および手術を起因とする疼痛・緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で快適な医療を提供できる麻醉科専門医を育成することで、国民の健康・福祉の増進に貢献する。

②麻醉科専門医の使命：麻醉科学とは、人間が生存し続けるために必要な呼吸器・循環器等の諸条件を整え、生体への侵襲行為である手術が可能のように管理する生体管理医学である。麻醉科専門医は、国民が安心して手術を受けられるように、手術中の麻酔管理のみならず、術前・術中・術後の患者の全身状態を良好に維持・管理するために細心の注意を払って診療を行う。患者の安全の最後の砦となる全身管理のスペシャリストである。同時に関連分野である集中治療や緩和医療、ペインクリニック、救急医療の分野でも、生体管理学の知識と患者の全身管理の技能を生かし、国民のニーズに応じた高度医療を安全に提供する役割を担う。

<特徴>

成人心臓血管外科、小児心臓血管外科、小児外科、呼吸器外科、産婦人科、脳神経外科などの症例経験数を求められる手術の症例数は豊富にある。また、ロボット支援内視鏡下手術、生体肝移植術などの症例も経験できる。ペインクリニック、集中治療の研修体制も充実している。

経験目標

- 全身麻酔や局所麻酔に用いる薬剤に関する知識、呼吸・循環管理、輸液管理、併存疾患を有する患者に対する麻酔管理などを習得する。
- 気管挿管だけでなく、ラリンゲルマスク挿入による麻酔維持も研修する。気道確保困難に対する対応も研修する。
- 硬膜外麻酔の手技の習得
- 中心静脈カテーテル挿入手技の習得
- 人工呼吸管理に関する呼吸生理の理論や人工呼吸器の操作方法の習得（高機能シミュレータを用いた実践的講習会）
- 血液浄化法の研修
- 心肺蘇生法の習熟（BLS, ACLS の講習会への参加を推奨する）

指導医や指導体制

高崎康史（准教授・集中治療部部長）：集中治療，麻酔

北村咲子（講師）：麻酔，学生教育統括，小児心臓麻酔

西原佑（准教授）：麻酔，集中治療

阿部尚紀（講師・手術部副部長・医局長）：麻酔，手術部運営，集中治療

藤井園子（助教）：麻酔，小児心臓麻酔 藤岡志帆（助教）：麻酔，緩和ケア

関谷慶介（助教）：麻酔，心臓麻酔，集中治療

小西周（助教・手術部）：麻酔，心臓麻酔

渡邊愛沙（助教・病棟医長）：麻酔，ペインクリニック，緩和ケア

西川裕喜（助教・外来医長）：麻酔，ペインクリニック

南立秀幸（助教・集中治療部）：集中治療 中田行洋（助教・集中治療部）：集中治療，麻酔

谷島明秋（助教・手術部）：麻酔，心臓麻酔

研修に関する行事

- 7:40-8:00 ICU 回診
- 8:00-8:15 手術部看護師と合同でその日の手術症例・集中治療管理症例のカンファレンス
- 8:15-8:30 ミニレクチャー（研修医・専攻医にもテーマを与えて発表してもらいます）
- 8:30～ 麻酔開始，ICU カンファレンス
- 毎週月曜日に英文抄読会や研究成果の発表
- 夏期に1週間のまとまった休暇あり。

新専門研修プログラムについて

愛媛大学麻醉科専門研修プログラム

専門研修基幹施設：愛媛大学医学部附属病院

専門研修連携施設：松山赤十字病院，松山市民病院，四国がんセンター，市立宇和島病院，愛媛県立今治病院，愛媛県立新居浜病院，愛媛県立中央病院，十全総合病院，市立大洲病院，市立八幡浜病院，済生会松山病院，住友別子病院，久留米大学病院，久留米大学医療センター，大牟田市立病院，筑後市立病院

<専門研修プログラムの運営方針>

- 4年間の研修期間のうち、少なくとも1年半は専門研修基幹施設にて研修。ただし、地域医療に従事する者（地域枠・地域奨学金制度等の理由により地域医療の従事期間が定められている者）は、4年間の研修期間のうち少なくとも1年間は専門研修基幹施設にて研修。
- 研修内容・進行状況に配慮して、プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるように、ローテーションを構築する。
- すべての領域を満遍なく回るローテーションを基本とするが、小児診療を中心に学びたい者、ペインクリニックを学びたい者、集中治療を中心に学びたい者など、専攻医のキャリアプランに合わせたローテーションも考慮する。
- 地域医療の維持のため、最低でも3ヶ月以上は愛媛県立新居浜病院、愛媛県立今治病院、市立宇和島病院、十全総合病院、市立大洲病院、市立八幡浜総合病院のいずれかで研修を行う。



専門研修修了後について

- 4年間の研修期間の4年目に専門医試験の受験資格が得られます。
- 専門研修終了後は、大学病院以外の病院で勤務し、更なるスキルアップを図る。（県立中央、松山赤十字、松山市民、市立宇和島などでは救急医療にも深く関わられます）
- 大学病院で、ペインクリニック、緩和医療や集中治療の分野で研鑽を積むことが可能。

学会認定医、専門医、指導医の資格取得

日本麻酔科学会、日本集中治療医学会、日本ペインクリニック学会、日本心臓血管麻酔学会など
詳細は下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

専門研修の問い合わせ先

医局 TEL: 089-960-5383, FAX: 089-960-5386

研修担当 阿部尚紀まで

E-mail: abe.naoki.kj@ehime-u.ac.jp URL: http://www.m.ehime-u.ac.jp/school/anes/index-j.html